

歴史講座 江戸名所御殿山誕生秘話	
日時	令和4年3月12日(土) 14:00~15:30
会場	講堂
講師	富川武史(品川歴史館学芸員)
受講者数	47名

【事業目的】

歌川広重や葛飾北斎といった江戸時代の有名な浮世絵師が描いた名所・御殿山。東海道の背後に位置する御殿山は、徳川幕府によって江戸の南側の防衛拠点に位置付けられ、三代将軍徳川家光により品川御殿と東海寺が建設された。その後、八代将軍徳川吉宗が墨田川堤・飛鳥山・中野とともに一般開放したことで、市民が集う桜の名所としての性格を強めていった。

本講座では、将軍と地元住民との関わりにより一大観光名所に変化していく御殿山の歴史を紹介した。